



七ヶ宿中学校

望湖克己学館だより

【学校教育目標】 「社会をつくり、たくましく生き抜く生徒の育成」

冬季休業後集会 ～校長講話より～

17日間の冬休みが終わり年度もあと3か月を残すだけとなりました。1年の計は元旦にありといいます。学校の計は今日にあり。「いまからここから」気分を新たに良い1年になるよう努めていきましょう。皆さん、どんな冬休みだったでしょうか。家庭や地域でのんびりと過ごせましたか。また、3年生は希望進路を実現するために勉強を、1・2年生は部活動や家庭学習を頑張りましたか。



冬休み中は大きな事故なく、今日を迎えることができたこと、皆さんと一緒に喜びたいと思います。さて、冬休み中に校長先生から宿題を出しました。回答してくれた人に感謝します。どうもありがとうございました。「自ら進んで学ぶようになるには」という課題でしたが、難しかったですね。考えても、よくわからなかった人もいます。いくつか紹介します。「教科の好き嫌いをなくす」、「一つ一つ全力でする」、「勉強に対して好き嫌いをつくらない」、「目標を決めてやる」などがありました。答えのない難しいテーマです。先生方も皆さんが自ら進んで学ぶようになるために知恵を絞って頑張っています。

校長先生はこう考えます。「自分から関わること」。授業も行事も学級も委員会も家庭生活もすべてに言えることです。ただ授業を聞いて黒板を写しているだけでは関わっているとは言えません。分からないことや疑問に思ったことを質問する。みんなで話し合う。予習する。復習する。行事や委員会では参加するだけでなく意見や感想を言う、終わりには改善点を提案する。家庭生活では、親にやってもらうだけでなく、自分にできることをどんどんやってみる。こうすることによって、自分が得た知識や身に付けたスキルが生かされ、初めて学びになるのです。

「なあんだ、結構やってるよ」と思った人もいるでしょう。そうなんです。皆さんすでにできるんです。やってるんです。先日、生徒会室で先生がいなくて生徒が3人、学級をよりよくするためにはどうするか一生懸命に話し合っていました。これが自ら進んで学んでいる姿です。皆さんが生きるこれからの社会は、「自分から関わる」ことがとても重要になってきます。

今日から、進んで学ぶようになるために「自分から関わること」を意識してほしいと思います。令和5年が皆さんにとって、素晴らしい年になることを期待しています。

今野太陽さん、スキー全国大会へ！ ～応援ありがとうございました～

1月14日(土)・15日(日)にオニコウベスキー場で宮城県中学校総合体育大会スキー競技大会が開催されました。本校からはアルペン競技に松木優奈さん(3年)、今野太陽さん(2年)、高橋董さん(1年)の3名が参加。その中で、太陽さんがGSL、SLの両種目で東北大会・全国大会出場の内定を手にしました。大会当日は雪ではなく雨が降り続く厳しいコンディションでしたが、3名とも粘り強く、自分の力を信じて滑走している姿に大変感動しました。3名の選手のみなさん、大変お疲れさまでした。

男子	今野太陽さん	GSL	7位	SL	6位
女子	松木優奈さん	GSL	途中棄権	SL	10位
	高橋 董さん	GSL	9位	SL	12位



小正月の伝統行事 ～「だんごさし」をしました！～

七ヶ宿町社会福祉協議会様より「みず木(団子の木)」と「団子」をいただき、生徒全員で「だんごさし」をしました。

「だんごさし」とは、小正月の行事で、新年の「豊作祈願」「一家繁栄」「無病息災」「豊かな幸せな生活」などの願いが込められているとのこと。

1月13日(金)の給食終了後、正面玄関に準備した団子の木に一人一人が願いを込めながらもちをさし、色とりどりとなるよう飾りつけを行いました。七ヶ宿町社会福祉協議会様、大変ありがとうございました。



七ヶ宿小学校
学校だより

七つの里

【学校教育目標】 かしこく、やさしく、たくましい児童の育成

新年の目標を決めて頑張っていこう！

令和5年1月10日に冬休み明け集会を行いました。初めに校長が新年に目標を立てることの大切さについて話しました。目標は立てるだけでなく、どのようにしたら達成できるかを考え、行動してほしいと話しました。次に、児童代表の発表を行いました。5年生の市川優悟さんと6年生の高橋優輔さんが、今年の目標について発表しました。二人とも、新6年生、新中学生へ向けての気持ちが表れた発表でした。その後は、各学級で一人一人自分の目標を書き、新たな気持ちで新年をスタートすることができました。



新型コロナウイルス感染症の影響がまだまだおさまらない中での年明けとなりましたが、これまで通り、新しい生活様式に基づいてできることを考えながら教育活動を進めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

スキー学習が始まりました



町学校スキー大会に向けて、アルペンスキー教室を4回予定しています。今年度も十分な積雪量があり、1月18日に今年度最初のスキー教室を実施することができました。当日は曇り空でしたが、風は穏やかで1回目の練習としては十分なコンディションでした。子供たちは7つのグループに分かれて活動しました。楽しみにしていた子供たちが多く、小雪が舞う中を滑り出していきました。また、1年生や転入生などスキー経験が少ない児童も増えてきていますが、インストラクター4名と小学校職員による指導のもと、元気に活動することができました。七ヶ宿スキークラブの皆様、七ヶ宿スキー場の皆様、ご指導ありがとうございます。また、ボランティアとして3名の保護者の方々にサポートしていただきました。ご協力、ありがとうございます。

生活科「まちたんけん」地域の方々からの学び

12月21日に、関駐在所とこ・らっしえを訪問し、見学とインタビューを行いました。駐在所では、澤田所長様から犯人に立ち向かうときの道具やパトロールの意味について教えていただきました。こ・らっしえでは、職員の小林様から、施設名の意味や図書コーナーの本について説明していただきました。知っているようで知らなかった二つの施設に親しみを感ずることができた探検となりました。



地域の方の話を真剣に聞いて、多くのことを学びました！

お弁当上手にできたかな？

1月16日に実施した「チャレンジ弁当づくり」は、今年度初めて取り組んだ食育の行事です。弁当づくりを通して、食に関心を持つことがねらいです。どんなお弁当にするか冬休みに各家庭で計画し、自分のできごとに取り組みました。一人一人が弁当づくりに関わったことで、当日はいつも以上においしそうに食事をしていました。各家庭でも食を見直す機会になったことと思います。保護者の皆様には、準備等のご協力をいただき、ありがとうございました。



七小っ子の活躍

★白石刈田学校保健会
 「心身健やか児童生徒賞」 6年 成田 睦雪
 「心身健やか作文賞」 6年 佐野 鈴之助